休　学　願（ 学　部 ）

令和　　年　　月　　日

九州大学芸術工学部長　殿

入学年度　　平成・令和　　　年度

所　　　属　　　　　　　　　学科　　　　　　　コース

学生番号

フリガナ

氏名

住　　　　所　　〒

電 話 番 号　　℡

メールアドレス

保証人氏名

保証人住所　　〒

電 話 番 号　　℡

※休学許可書の送付先とする住所の先頭に○を付してください。

下記のとおり休学したいので、許可くださるようお願いします。

記

１．理由（詳細に記入すること）

２．休学申請期間（年度末まで）　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

　※過去に休学歴があれば記入してください：平成・令和　　 年 　月　 日 ～ 平成・令和　　 年 　月　 日

|  |
| --- |
| **【大学記入欄】**　　　　　　年　　　　　月　　　　　日　　　　　　　　　　　　　学科・コース会議 承認　　 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 確認事項 | 担当者印 | 処理日 | 係確認欄 | 備　考 |
| 授業料免除申請（前期・後期） |  |  |  |  |
| 授業料納入確認（前期・後期） |  |  |  |  |
| 日本学生支援機構奨学金・各種奨学金確認 |  |  |  |  |
| 学務情報システム入力 |  |  |  |  |
| 学生納付金管理システム入力 |  |  |  |  |

教務係・学生係記入欄

副　申　書

芸術工学部長　殿

クラス担任・卒研指導教員 氏名　　　　　　　　　　（自署）

学生の休学の申請について下記のとおり副申します。

休学申請者　　　　　　　　　　学科　　　　　　　コース　　　年　氏名

休学申請期間　　　令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日

休学者への面談日、休学が必要と判断した状況

**クラス担任・卒研指導教員用**

**副申書の記入例**

（疾病、事故）

上記学生から休学願に記載の理由（　病名など　）により休学の申し出があり、〇月〇日、本人に電話面接の上、（キャンパスライフ･健康支援センターの○○医師と協議し）休学に至る経緯を確認した結果、早期に治療（療養）のために○年間（○ヶ月）休学することが最善の方法と判断しましたので、ここに副申します。

（経済的理由）

上記学生から休学願に記載の理由により休学の申し出があり、〇月〇日、本人にオンライン面接の上、休学に至る経緯を確認した結果、・・・・・・・・・・・・・・・・・により、学資支弁が困難であり、学資確保のため、○年間（○ヶ月）休学することはやむを得ないと判断しましたので、ここに副申します。

（家族の看護、介護、育児）

上記学生から休学願に記載の理由により休学の申し出があり、〇月〇日、本人に面接の上、休学に至る経緯を確認した結果、・・・・・・・・・・・・・・・・・・により、就学が困難であり、○年間（○ヶ月）休学することはやむを得ないと判断しましたので、ここに副申します。

（インターンシップ、ボランティア活動、海外語学研修）

上記学生から休学願に記載の理由により休学の申し出があり、〇月〇日、本人に面接の上、休学に至る経緯を確認した結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・、本人の資質（技術・知識）の向上において有意義なことであるため、○年間（○ヶ月）休学することが最善の方法と判断しましたので、ここに副申します。

（海外事情調査・研究）

上記学生から休学願に記載の理由により休学の申し出があり、〇月〇日、本人に面接の上、休学に至る経緯を確認した結果、当該学生は○○○○の研究を行っており、その研究のためには、○○○○で調査・研究をする必要があり、本学での就学は困難であるため、○年間（○ヶ月）休学することが最善の方法と判断しましたので、ここに副申します。

（就業）

上記学生から休学願に記載の理由により休学の申し出があり、〇月〇日、本人に面接の上、休学に至る経緯を確認した結果、上記学生は○○○○にて・・・・・・・・の業務にたずさわっているが、・・・・・・・により業務が多忙になり、業務に専念するため、○年間（○ヶ月）休学することはやむを得ないと判断しましたので、ここに副申します。